

地方創生加速化交付金に係る事業効果検証結果

No	交付対象事業の名称	事業の目的	実績額 単位:円	本事業における重要業績評価指標(KPI)			本事業終了後における実績値			外部有識者からの評価		実績値を踏まえた事業の今後について	
				指標	指標値	目標年月	実績値	備考	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由
	「もうひとつの那須」から始まる地域力向上事業	本町の南東部地域(芦野・伊王野地区)は、那須高原に代表される本町の観光スポットとは別の雰囲気醸成しており、史跡や日本の原風景を想起させる田園風景など様々な観光資源を有している。しかし、芦野地区に関しては、地場産業の低迷や少子高齢化等により経済の活性化、雇用の確保などが喫緊の課題となっている。このような課題解決の加速化を図るため、観光を主体とした総合的な施策展開を図る。	43,990,008	指標① 芦野交流拠点来訪者数	30,000人	H29.3	13,163人		KPI達成状況は芳しくなかったものの、地方創生に効果があった。	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業自体のKPI設定については、効果が直接反映されるようなものがよかった。	事業の発展	本町南東地域の魅力向上などに効果的であったから
	サイクルツーリズム推進事業～観光・健康・復興に輪行で行こう～(白河・西郷・那須)	自転車競技が盛んな白河市・西郷村・那須町において、サイクリストにとっての良好な環境を整備し、自転車を二次交通と捉えた広域観光を推進することで、交流人口の増加を図り、観光による第三次産業の市場規模の拡大を図る。また、自転車文化の根付いたアジア圏に向けたプロモーションを行い、インバウンド観光を促進する。	14,835,018	指標① 黒田原駅年間利用者数	250,000人	H29.3	185,596人		KPI達成状況は芳しくなかったものの、地方創生に効果があった。	総合戦略のKPI達成に有効であった	事業自体のKPI設定について、実態として本町を訪れるサイクリストは増加していると思われるので、レンタサイクルの貸し出し台数など直接的なものを設定したほうがよい。	事業の発展	指標値には達しなかったが、サイクリスト増加の実感があるなど地方創生に一定の効果を得られているため
	とちぎ材需要創造戦略事業(栃木県・那須町・他6市町)	栃木県産の木材については、戦後に植林されたスギやヒノキの多くが利用期を迎えており、約20万m ³ /年の出荷が可能である。しかし、出荷量は、伸び悩んでおり、新たな用途開拓や統一的なマーケティング・ブランディングが求められている。そこで、地方創生加速化交付金を活用し、木材の用途開拓等に当たり重要となる強度性能や環境性能を「見える化」し、とちぎ材需要創造協議会を設立して統一的なマーケティング及びブランディングを図る。	4,100,000	指標① とちぎ材マーケティング等戦略	1式	H29.3	1式		一部のKPIが目標値に達しなかったものの、地方創生には相当程度効果があった。	総合戦略のKPI達成に有効であった	地方創生に一定の効果がみられた。	予定どおり事業終了	
	スポーツを核とした地方創生推進事業(栃木県・25市町)	自転車の先進地ともいえる本県において、国際公認レースとして「ツール・ド・とちぎ」を開催することで、県内観光資源とスポーツイベント等との一体的な周遊コースの企画やインバウンドの促進、若者等のイベントへの参加やPRイベント等の企画・実施による一億総活躍の実現、スポーツツーリズムの構築、地域資源の発掘・魅力発信といった様々な仕組みの構築を図る。また、若者とプロスポーツチームとの交流により、郷土愛の醸成を図り、若者の県内定着も促進する。	1,200,000	指標① ツール・ド・とちぎの観客動員数	7,000人	H29.3	把握できず 那須町が参加した2日目の全体の観客動員数が16,000人		一部のKPIが目標値に達しなかったものの、地方創生には相当程度効果があった。	総合戦略のKPI達成に有効であった	地方創生に一定の効果がみられた。	事業の継続	地方創生に一定の効果を得られたため
				指標② 観光入込数	前年比増	H29.3	45,587人の増						
				指標③ 外国人宿泊数	90,000人	H32.3	—	H29.3/12,056人					